

●受難節第五主日

泉のほとり

今日の詩編「第一四三篇」

あなたに向かつて両手を広げ

渴いた大地のようになわたしの魂を

あなたに向けます。



神の業が現れるために

通りすがりに、生まれつき目の見えない人を見かけられました。弟子たちは「この人が生まれつき目が見えないのは、誰の罪によるものですか。本人ですか。それとも、両親ですか」と尋ねました。イエスキリストは「本人の罪からでも、両親の罪からでもない。神の業がこの人に現れるためである。神の業を、まだ目のあるうちに行わねばならない。誰も働くことのできない夜が来る。わたしは世にいる間、世の光である」とお答えになりました。それから、地面に唾をし、唾で土をこねてその人の目にお塗りになり「シロアムの池に行つて洗いなさい」と言われたのです。その盲人はキリストに言われた通り、シロアムの池に行つて洗い、目が見えるようになって帰ってきました。そこにはもうイエスキリストはおられませんでしたが、その代わりに彼のことに気づく人たちがいました。人々は「これは、ここで物乞いをしていただけではないか」と言いました。「その人だ」と言う者もいれば、「いや違う。似ているだけだ」と言う者もいました。人々がそう話しているのを聞いた本人は「私がその人です」と明かしたのです。「あなたの目はどのようにして開いたのか」と聞かれ「イエスという方が土をこねて、私の目に塗り、シロアムに行つて洗いなさい」と言われて、その通りにしたら見えるようになったのです」と素直に自分の身に起きたことを話したので

す。

ところが、その話に喜ぶ者はなく「イエスという人は今どこにいるのか」と彼は問われました。その日は安息日でした。安息日にはあらゆる仕事を止めなければなりません。特に彼の話で「土をこねた」という言葉に人々は引つかかったのだと思います。神さまは天地を造られた時、最後の6

日目に「上」で人を造られたからです。そして7日目はすべての業をやめられた。しかしイエスという人は土をこねた。この人は安息日を守らない人、神のことは破る人、それゆえ「その人は今どこにいるのか」となったのだと思います。「土をこねて、彼の目に塗った。彼の目が見えるようになった」

素直な心であれば、これは人を造られた「神の業」でなければ成し得ないこと。正に「神の業」と見えていたでしょう。しかし人々の目にはその「神の業」が見えませんでした。神の業を見ることのできない、素直でないその曲がった心は「生まれつきの盲人を罪の中で生まれた人」「イエスキリストは安息日を犯した罪人」と見ていたのです。安息日を破りましたが、神さまが定められた「安息」とは正反対の世界が開かれています。安息日を罪深い人間からのものにして、人々に与えられるはずの安息でさえ奪い取るうとする、彼らこそ安息日を犯す者たちです。

キリストは人の罪が見えて、自分のそういった頑なな、罪深い心には気づかない心の人たちに「あなたがたは見えると言っているから、あなたがたの罪は残る」と言われました。頑なな、罪深い人の心の本質は2000年前とまったく変わっていません。むしろあらゆるメディアなどを通じて、人の罪の本質がより露わにされているのを見るのです。しかしその頑なな心に気づく者はほとんどなく、依然として人の罪がよく見え、裁きある世界です。

キリストは、今日の私たちにも語られています。「見えないのであれば、罪はないであらう。しかし、見えているなら、あなたの罪は残る」と。人の罪を見る頑なな心ではなく、それに気づく者でありたい。神の業を見ることのできる素直な心の者でありたいものです。

目を開いてください

すべて造られたものの源である神よ、
わたしたちの目を開き、

あなたを知ることができるようにし
いと高き聖なるあなたのうちには、
自分の希望をおくことが
できるようにしてください。

あなたは、苦しむ者の助け手、
絶望する者の救い主。

あらゆる霊を作り、
それを見張っておられる方。

諸々の民の数を増やし、
しかもそのすべての世界から、
あなたの愛する御子

イエス・キリストを通して、
あなたを愛する者たちを、お選びになつた方。
あなたはこのイエス・キリストを通して

わたしたちに教え、
わたしたちを聖なる者とし、
わたしたちに栄誉を与えてくださいました。

わたしたちの主であり師である神よ、
わたしたちを助け、
苦しむ者を救い出してください。

低い者を憐れみ、
倒れ伏す者を助け起こし、

求める者に愛をあらわし、
罪深き者を癒し

迷い出たあなたを立ち知らせ、
飢える者に糧を与え、

獄にある仲間たちを解放し、
弱い者に力を与え、

怖じ気づく者を励ましてください。

すべての民がこのことを知るように

してください。

ただあなただけが神、

イエス・キリストはあなたの御子、
そして、わたしたちはあなたの民、

その牧の羊であることを。

平野克己 「祈りのともしび」より

ローマのクレメンスの祈り

今日のお知らせ

○ 礼拝の中で、二月に楠日高さん・春香さんの
家庭に与えられた福誠一郎くんの祝福式をし
ます。

○ 礼拝後、教会学校と並行してロビーでのコー
ヒーサービスと、園舎二階リズム室では、
「ぶどうの会」が開かれます。どうぞご参加
ください。

○ 正午から、ホールで二月教会総会を行います。
来年度の計画と予算を承認し、新年度の
役員を選挙する大事な総会です。教会員はお
集まりください。

○ 二一日（水・祝日）午前一〇時から午後四時
まで、新旧役員の研究会和組織会を行います。
今年度役員と今日総会で選ばれた役員、
スタッフはご参加ください。

○ 二二日（金）午前一〇時から、シオンの会を
カナルルームで行います。ハイデルベルク信
仰問答の問一一〇と一一二です。新しい方々
の参加を歓迎します。

○ 二四日（土）午後二時から、日比野幸姉のリ
サイタルが礼拝堂で行われます。今日の総会
の休憩の時にチケットを販売します。

公 告

左記により、三月教会總會を開催いたします。現任陪餐会員はお集まりください。

二〇一八年三月十一日

キリスト品川教会 代表役員 吉村和雄

記

日 時 三月一八日(日) 正午

場 所 グローリア・チャペル・ホール

議 題

一 菊池美穂子教師志願者を

キリスト品川教会の教師に立てる件

二 二〇一八年度教会課題案

三 二〇一八年度教会行事予定案

四 二〇一八年度主日および週間集会

予 定 案

五 二〇一八年度教会一般会計予算案

六 二〇一八年度地域センター会計

予 算 案

七 二〇一八年度グローリア・チャペル

経費管理会計予算案

八 二〇一八年度附属幼稚園会計予算案

九 二〇一八年度長期修繕計画案

一〇 教会役員選挙

一一 監事選挙

二〇一八年度教会役員候補者

教会役員会は次の一〇氏を新役員候補者として選考いたしました。

荒美 俊二 石川 一 神山 宣紀

川越 啓子 楠 富士子 野中 君子

藤本 敏三 三澤 茂夫 山下 純一

山名 弘史

以上

聖書の会へどうぞ

●朝の聖書の会(10時)

●聖書の夕べ(19時)

今期は終了しました。

4月に再開いたします。

次週礼拝

●第1礼拝(午前10時)

讃美歌 讃21、363番 やさしい日が

説教 「ユダヤ人の王、わたしたちの王」

聖書 マタイ27章32〜44節

説教者 吉村和雄 牧師

●第2礼拝(午前11時10分)

讃美歌 138番 357番

詩 編 第143編

説教 「権威に従う」

聖書 マタイ8章5節〜13節

説教者 黄允浞 副牧師





今日の礼拝

讃美歌 讃美歌21 363番

やさしい日が

説教 「死を超える命がここに」

聖書 ヨハネ11章17～27節 (新約P189)

司式 森洋之兄

説教者 聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲 「ペテロのごとく」 J.ウェストンキョーテ

○ 讃美歌21 363番

1. み神の方は 山を起こし

海原を広げ 空を造る

深い知恵により 日は輝き

月は照りわたり 星もめぐる

2. み神はめぐみで 地を講たして

造られたものを よしとされた

見よ その不思議は 大海にも

わが歩む地にも 大空にも

3. 花も木も示す 主のみ栄え

雨雲も風も 主に従う

すべてのもの皆 みむねにより

造られ守られ ここに生きる

○ 教会学校による讃美

「わいてくるよ」

○ ソプラノによる讃美

「ピエイエズ」 A.カプー

○ 聖歌隊による讃美

「ああ 御神は」 J.リッパ

ああ 御神は ああ 御神はその一人子を

給うほどに 世を愛し給う

とうとき御子をば 世に給いぬ

主を信ずる民のほろびず とこしえの命を

得るためぞ 御救いを受くるためぞ

ああ 御神は ああ 御神はその一人子を

給うほどに 世を愛し給う

とうとき御子をば 世に給いぬ

永遠の永遠の 命とみ救いを

世にぞ給う ああ 御神は

○ やさしい日が

1. やさしいめが きよらかなめが

きょうもわたしを みていてくださる

「まっすぐにあるきなさい」とみていてくださる

2. おおきなてが あたたかいてが

きょうもわたしを ささえてくださる

「はなれずにあるきなさい」とささえてくださる

3. かざりのない ひろいところが

きょうもわたしをまもってくださる

「やすらかにあるきなさい」とまもってくださる

聖餐曲 「アンダンテ」 J.ベリッス

後奏曲 「深き嘆きのふちより」 J.S.B. ヴァ

* 礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。